

平成21年12月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 バンクテック・ジャパン株式会社

コード番号 3818 URL <http://www.banctec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三井所 清宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 三浦 裕政

TEL 044-578-5112

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	9,687	4.6	947	△24.8	942	△23.3	543	△27.4
20年12月期第3四半期	9,266	17.6	1,259	368.3	1,229	390.2	747	386.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	4,950.36	—
20年12月期第3四半期	6,821.88	6,789.44

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	6,414	3,392	52.9	30,916.60
20年12月期	7,455	3,011	40.4	27,441.76

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 3,392百万円 20年12月期 3,011百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	1,400.00	1,400.00
21年12月期	—	0.00	—		
21年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	1.1	1,323	△0.6	1,300	0.6	780	10.7	7,108.03

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第3四半期	109,735株	20年12月期	109,735株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	—株	20年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第3四半期	109,735株	20年12月期第3四半期	109,642株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4ページ「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きが見られたものの、依然として企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等が続いており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当情報サービス業界におきましても、景気低迷の煽りを受け、企業全般にわたりIT投資の先送りや大幅な削減もしくは凍結といった設備投資抑制が続くなど、極めて厳しい環境下にて推移しております。

このような環境のもと、当社におきましては、幅広い業種のお客様を対象に、企業の基幹業務に対しイメージ情報を活用した業務効率化やコストダウンを図るソリューションの提案などの受注活動に注力いたしました。

その結果、保険業界や流通業界への納入が好調に推移したこと、アウトソーシング・ビジネスが順調に積み上がったことなどにより、売上高が伸長いたしました。また、受注においては、公共や銀行の分野で新規顧客や既存顧客から大口の受注を獲得することができました。

一方利益面に関しましては、企業のIT投資の低迷などによる競合や入札の激化や、顧客からの販売価格の値下げ要請が強まるなか、売上高の増加に加え、コストをコントロールすることにより利益確保に努めてまいりました。

上記の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、9,687百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益947百万円（前年同期比24.8%減）、経常利益942百万円（前年同期比23.3%減）、四半期純利益543百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の部

当第3四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末に比べ2,014百万円減少し、6,414百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,404百万円、仕掛品の減少350百万円であります。

(2) 負債の部

当第3四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ2,413百万円減少し、3,021百万円となりました。その主な要因は、1年以内返済予定長期借入金の減少817百万円、未払法人税等の減少542百万円であります。

(3) 純資産の部

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ399百万円増加し、3,392百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加389百万円であります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の35.5%から52.9%となりました。

(4) キャッシュ・フローの部

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1,404百万円減少し、992百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動による増加は、454百万円となりました。その主な要因は、減価償却費の増加415百万円、たな卸資産の減少249百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動による減少は、725百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得747百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動による減少は、1,131百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の返済978百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

国内景気は、最悪期を脱しつつあるもの、依然として下振れ懸念は払拭し難く、予断を許さない状況にあります。

当業界におきましても、IT設備投資の抑制による発注の延期や投資規模の縮小、また納入価格への低下圧力などにより、引き続き厳しい状況が続くことが予想されますが、こうした状況の中でも、当社はこれまでのところほぼ計画通りに推移しており、通期の予想につきましても現段階で修正はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

当第3四半期会計期間に係る固定資産の減価償却費の算定において、定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	992,008	2,396,459
受取手形及び売掛金	859,614	1,093,954
仕掛品	1,158,653	1,509,264
原材料	181,334	51,004
保守部品	166,714	195,750
繰延税金資産	330,945	330,945
その他	109,889	263,329
流動資産合計	3,799,160	5,840,708
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	※1 810,701	※1 720,353
その他	※1 382,519	※1 289,938
有形固定資産合計	1,193,220	1,010,292
無形固定資産	203,566	288,474
投資その他の資産		
長期前払費用	461,544	552,098
繰延税金資産	315,120	315,120
その他	441,693	422,205
投資その他の資産合計	1,218,357	1,289,423
固定資産合計	2,615,144	2,588,190
資産合計	6,414,305	8,428,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	776,485	734,392
1年内返済予定の長期借入金	323,000	1,140,000
未払法人税等	36,341	579,119
前受金	205,567	541,007
賞与引当金	—	219,207
受注損失引当金	70,489	81,282
その他	502,896	862,445
流動負債合計	1,914,781	4,157,455
固定負債		
長期借入金	648,500	810,000
退職給付引当金	316,612	319,805
役員退職慰労引当金	112,943	118,973
その他	28,835	29,129
固定負債合計	1,106,891	1,277,909
負債合計	3,021,672	5,435,364

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	721,875	721,875
資本剰余金	649,195	649,195
利益剰余金	2,013,354	1,623,755
株主資本合計	3,384,425	2,994,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,566	△888
繰延ヘッジ損益	△358	△404
評価・換算差額等合計	8,207	△1,292
純資産合計	3,392,632	2,993,533
負債純資産合計	6,414,305	8,428,898

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	9,687,822
売上原価	7,064,001
売上総利益	2,623,821
販売費及び一般管理費	※ 1,676,697
営業利益	947,124
営業外収益	
受取利息	1,959
受取配当金	2,448
業務受託料	4,800
為替差益	2,919
その他	8,982
営業外収益合計	21,109
営業外費用	
支払利息	23,117
その他	2,557
営業外費用合計	25,674
経常利益	942,559
特別損失	
固定資産除却損	11,578
特別損失合計	11,578
税引前四半期純利益	930,980
法人税等	387,753
四半期純利益	543,227

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,991,860
売上原価	2,160,361
売上総利益	831,498
販売費及び一般管理費	* 560,013
営業利益	271,484
営業外収益	
受取利息	742
受取配当金	32
業務受託料	1,800
為替差益	2,908
その他	689
営業外収益合計	6,172
営業外費用	
支払利息	6,866
その他	913
営業外費用合計	7,779
経常利益	269,877
税引前四半期純利益	269,877
法人税等	105,699
四半期純利益	164,177

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	930,980
減価償却費	415,860
長期前払費用償却額	107,726
支払利息	23,117
賞与引当金の増減額(△は減少)	△219,207
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,193
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,029
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△10,792
売上債権の増減額(△は増加)	234,340
たな卸資産の増減額(△は増加)	249,316
仕入債務の増減額(△は減少)	42,092
前受金の増減額(△は減少)	△338,380
その他	△31,482
小計	1,394,348
利息及び配当金の受取額	7,189
利息の支払額	△24,347
法人税等の支払額	△923,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	454,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△747,846
無形固定資産の取得による支出	△34,717
差入保証金の回収による収入	73,778
差入保証金の差入による支出	△16,351
その他	△478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△725,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△978,500
配当金の支払額	△153,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	△985
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,404,450
現金及び現金同等物の期首残高	2,396,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 992,008

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成20年1月1日～9月30日)

区分	前中間会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	9,266,197	100.0
II 売上原価	6,493,040	70.0
売上総利益	2,773,156	30.0
III 販売費及び一般管理費	1,513,666	16.4
営業利益	1,259,489	13.6
IV 営業外収益	16,511	0.2
V 営業外費用	46,448	0.5
経常利益	1,229,552	13.3
VI 特別利益	21,620	0.2
VII 特別損失	1,701	0.0
税引前中間純利益	1,249,471	13.5
法人税、住民税及び事業税	496,686	
法人税等調整額	4,820	501,506
四半期純利益		747,964
		8.1

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成20年1月1日～9月30日)

	前年同四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,249,471
減価償却費	376,894
長期前払費用償却	103,067
支払利息	34,493
賞与引当金の増減(△)額	△106,921
退職給付引当金の増減(△)額	△22,135
役員退職慰労引当金の増減(△)額	△18,047
売上債権の増(△)減額	753,011
たな卸資産の増(△)減額	△839,476
仕入債務の増減(△)額	△54,735
その他	161,082
小計	1,636,704
利息・配当金の受取額	5,501
利息の支払額	△38,854
法人税等の支払額	△350,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,252,885
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の売却による収入	8,881
有形固定資産の取得による支出	△310,194
無形固定資産の取得による支出	△107,055
投資有価証券の取得による支出	△496
その他	△296,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△705,789

	前年同四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△575,000
株式の発行による収入	5,750
配当金の支払額	△82,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△651,277
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,836
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	△102,344
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,496,348
Ⅶ 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,394,004

6. その他の情報

(1) 受注状況

(単位：千円)

事業部門別	前第3四半期累計 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)	当第3四半期累計 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	前事業年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)
	金額	金額	金額
イメージ情報ソリューション	8,932,055	6,058,193	11,121,723

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 数量については、品目単位が多岐にわたり表示が困難なため記載を省略しております。

(2) 販売状況

(単位：千円)

品目	期別	前第3四半期累計 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)		当第3四半期累計 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)		前事業年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
イメージ情報 ソリューション	システム・ インテグレーション	4,581,876	49.5	4,639,495	47.9	6,559,452	50.2
	アウトソーシング	2,097,090	22.6	2,461,753	25.4	2,874,170	22.0
イメージ情報ソリューション計		6,678,967	72.1	7,101,248	73.3	9,433,623	72.3
メンテナンスその他		2,587,229	27.9	2,586,574	26.7	3,621,548	27.7
合 計		9,266,197	100.0	9,687,822	100.0	13,055,171	100.0

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 数量については、品目単位が多岐にわたり表示が困難なため記載を省略しております。